

令和2年度 岐阜県立土岐紅陵高等学校

学校運営協議会（第2回）議事要旨

- 1 会議名 土岐紅陵高等学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和2年11月19日（木）13:30～15:30
- 3 開催場所 土岐紅陵高等学校会議室
- 4 参加者
- | | | |
|--------|-------|-------------------|
| 委員 | 青木 雅子 | 下石女性の会会長 |
| | 勝股 雅代 | 下石小学校PTA家庭教育学級委員長 |
| | 仙石 守一 | 土岐市立下石小学校長 |
| | 土本 泰 | 至学館大学入試広報担当 |
| | 長瀬 教行 | 土岐市立西陵中学校長 |
| | 山路 峰弘 | 土岐市まちづくり推進課長 |
| | 鷺見 政人 | 土岐市社会福祉協議会 |
| 学校側 | 中川 敬三 | 校長 |
| | 日比野隆行 | 教頭 |
| | 加藤 健二 | 教務主任 |
| | 薄田 直樹 | 進路指導主事 |
| | 加藤 智子 | 活性化推進部長 |
| オブザーバー | 林 尚志 | 県立高校地域連携コーディネーター |

5 会議の概要（協議事項）

(1) 開会

- ① 出席多数による会議成立の確認
- ② オブザーバーの紹介
- ③ 出席者の自己紹介
- ④ 会長挨拶
- ⑤ 校長挨拶

(2) 委員と生徒（各学年男女1名ずつ）との懇談（抜粋、要約）

Q. 何系列に所属し、どんなことを学んでいるのか。

→A. 食と福祉系列に所属し、介護福祉の授業でベッドメイキングや車いすの介助の方法などを学んでいる。

Q. 1年生はどんな授業を楽しみにしているのか。

→A. 情報ビジネス系列で社会のマナーやパソコンの使い方を学び、将来に役立てたい。

Q. MSリーダーズではどんな活動をしているのか。

→A. 朝の挨拶運動や地域の清掃活動などを行っている。

Q. 入学前に描いていた本校のイメージと入学後の実際はどうだったか。

→A. 総合学科なので普通科では学べない専門的な勉強や実習ができてためになる。

→A. 中学の先生からよい学校だと勧められて入学した。生徒一人ひとりの理解度に合わせて、丁寧に分かりやすい授業をしてもらえるので、学力が伸びた。

Q. 地域に貢献していることや貢献したいこと、地域にお願いしたいことはあるか。

→A. 吹奏楽部が公民館や幼稚園などで演奏をしているので、音楽の演奏を通じて地域に貢献していきたい。

Q. 総合学科の良さをどのように中学生にアピールしたいか。

→A. 将来の夢がまだ決まっていない人も、入学後にいろいろなことを学び、幅広い知識を得てから進路を選ぶことができる。

→A. 進路の選択肢が多く、高校入学後でも進路変更が容易である。

(3) 演劇ワークショップの見学

(4) 議事

① コロナ対応の現状について（校長より）

・生徒は登校すると校舎の入り口で健康チェックを受け、アルコール消毒をしてから校舎に入る。また、万一の時に遡って追跡できるように、健康チェック票を毎日記入している。

・教室の入り口側と窓側の窓を少し開けて常時換気するとともに、空気清浄機を稼働して加湿もしている。

Q. マスクをしていない生徒への指導はどのようにしているか。

→A. 全員にマスクを着用するよう声かけ指導をしている。昼休みには、養護教諭がマスクの着用と手洗い・消毒を呼びかけている。

② ICT環境の整備について（教頭より）

・昨年の秋に全普通教室の黒板をホワイトボードに交換し、電子黒板機能付きのプロジェクターを設置した。また、タブレット端末が40台整備された。

・本年5月からWeb会議システムを利用したオンライン授業を行う環境が整い、5月下旬より2週間、オンライン授業を配信した。視聴環境のない生徒にはタブレット端末を貸し出し、生徒全員がオンライン授業を視聴する環境を整えた。

・来年1月までには生徒全員分のタブレット端末が配備される予定である。

Q. ICT環境の整備により、教員の負担はどうか。

→A. 整備当初の負担は増えるかもしれないが、教材データが蓄積されれば負担の軽減が期待できる。

③ 部活動について（校長より）

・現在、17の部活動があり、各部とも複数の顧問で担当している。今後入学定員と教員数が減ると、現状維持は困難になる。

・教員の働き方改革の観点から部活動数の指標が示され、それに従うと本校の場合5～7の部活動を減らすことになる。

・部活動の教育的意義も考えながら、様々な観点で検討を進めている。

④ 地域連携について（活性化推進部長より）

・2年生の地域課題探究学習の中で、土岐市の第6次総合計画の中の4つのテーマ「健康寿命の増進」「読書率の向上」「駅前商店街の活性化」「土岐市のPR」について、連携して取り組むことになった。

(オブザーバーより)

・地域と連携した課題解決学習の中で、地域の人たちのすばらしさに気付いてほしい。また、生徒の活動の中に地域の大人たちが入って行って、大人たちがリードする部分があってもよいのではないか。生徒は地域の方々と一緒に活動することによって、地域を見直すきっかけになる。学びの場を学校から地域へ移し、地域の大人たちが地元の子を育てていくのがこれからの地域連携ではないのかと思う。

⑤ 「基調アンケート」について（校長より）

- ・「基調アンケート」は、地域の小中学生やその保護者、教員、企業関係者や地域住民の本校に対する見方を調査し、学校経営の参考とするものである。3年間のアンケート実施により、本校に対する地域の見方がある程度把握することができた。また、多くの質問に対して「分からない」という回答が多いことも分かった。アンケートの対象者や今年度の実施有無について、今後検討したい。

6 会議のまとめ

（会長より）

第3回の学校運営協議会は1月～2月頃の開催を予定しており、今年度の学校の取組を振り返るとともに、次年度の学校運営の基本方針について検討したい。

（校長より）

委員の皆様には大変貴重なご意見を賜り、改めて感謝申し上げます。これからの学校経営に生かしてまいりたい。